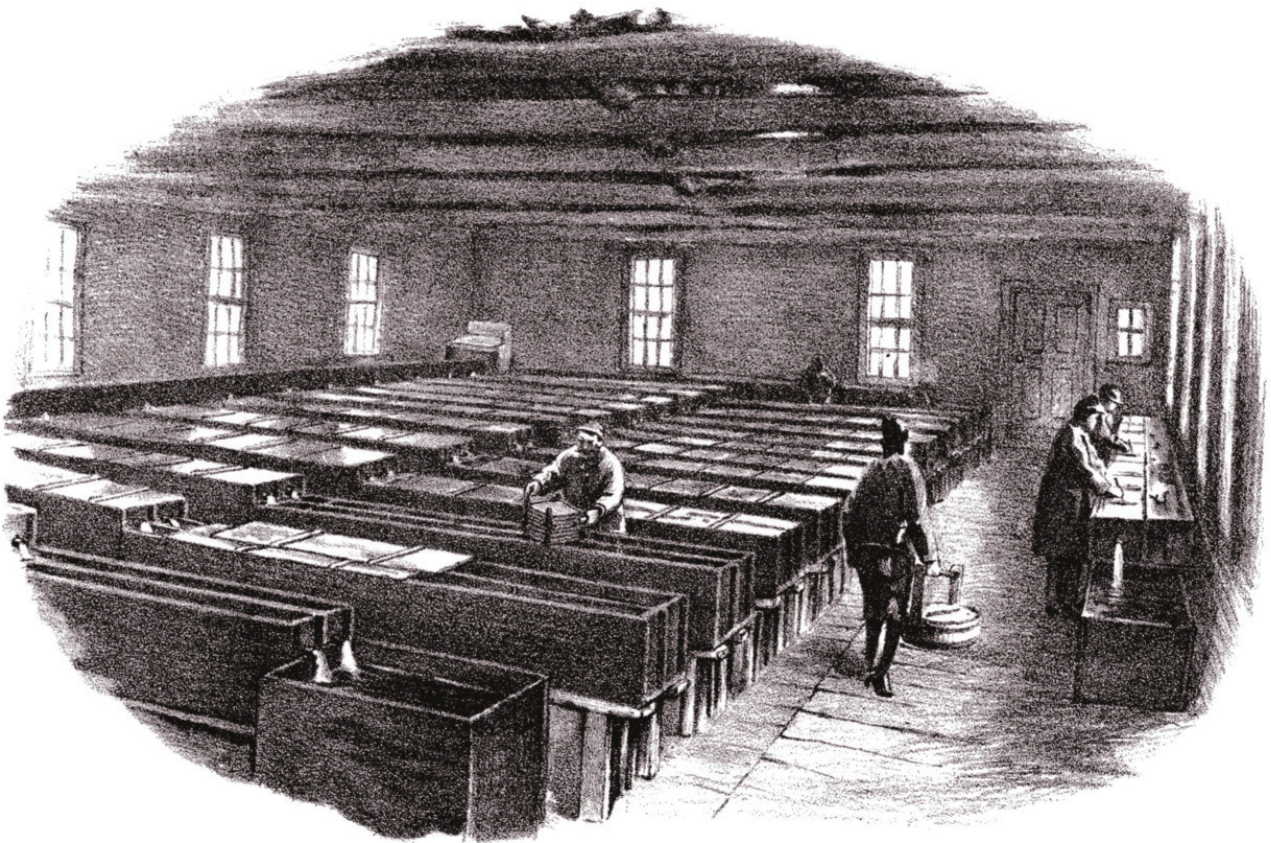


# SALMON 情報

第9号

2015年3月

- 水温に左右されるサケ科魚類の生活～地球温暖化の影響を考えるために～
- 資源管理の知識基盤として、雌雄差を理解する
- 環境の特徴に合わせたサケ放流手法の検討のために～耳石標識放流の結果から～
- サケふ化放流事業における放流と捕獲の関連性
- サハリンふ化場視察
- サケ科魚類のプロファイル-13 イトウ
- さけます人工孵化放流に関する古文書の紹介  
ほか



千歳中央孵化場室内之圖

編集 北海道区水産研究所



独立行政法人  
水産総合研究センター

## 目次

## 研究成果情報

- 水温に左右されるサケ科魚類の生活  
～地球温暖化の影響を考えるために～…………… 森田健太郎 3
- 資源管理の知識基盤として、雌雄差を理解する…………… 玉手 剛 12

## 技術情報

- 環境の特徴に合わせたサケ放流手法の検討のために  
～耳石標識放流の結果から～…………… 中島 歩 15
- サケふ化放流事業における放流と捕獲の関連性…………… 安達宏泰・高橋史久 18

## 会議報告

- さけます関係研究開発等推進会議…………… 安達宏泰 21
- 2014 年 NPAFC 年次会議 科学調査統計小委員会 (GSRs) の概要…………… 浦和茂彦 24
- 平成 26 年度さけます資源部第 1 回連絡会議ワークショップ  
「地域特性に合った増殖事業の展開に向けて」…………… 伴 真俊・ほか 26

## トピックス

- サハリンふ化場視察…………… 富田泰生・江田幸玄 32

## さけます情報

- サケ科魚類のプロファイル-13 イトウ…………… 福島路生 35
- さけます人工孵化放流に関する古文書の紹介…………… 野川秀樹 39
- 北太平洋と日本におけるさけます類の資源と増殖…………… 佐藤恵久雄 42



## mini column

表紙絵は、前号に引き続き、明治 27 年北海道廳<sup>ちよう</sup>発行「北海道鮭鱒人工孵化事業報告」に綴られたスケッチです。明治 21 年に建設された千歳鮭鱒人工孵化場（現千歳さけます事業所）の「甲号孵化室」内部を描いています。アトキンス式 2 間槽の孵化槽を 2 段 2 列一組で 11 列備え、約 500 万粒の種卵収容能力がありました。中央では受精卵を盛った孵化盆を収容しており、右では死卵を取り除く検卵作業を行っています。

また、裏表紙絵は、明治 22 年発行「北水協会報告」第 42 号の口絵です。当時の孵化場主任（場長）であった藤村信吉氏の筆による「甲号孵化室」の外観で、左が孵化室、右は事務室となっています。

